

かほく ワークシート

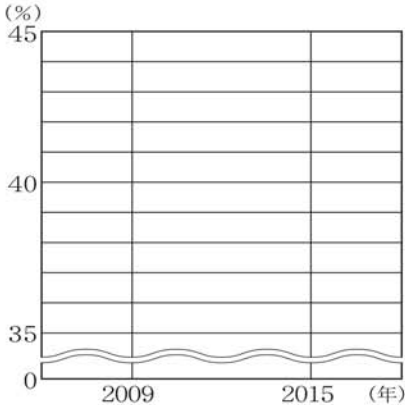
①仙台市は、紙類など再利用可能な資源物を、ごみに混ぜないように呼び掛けています。「ワケアップ」のねらいはなんですか？
かっこにあてはまる言葉を入れましょう。

仙台市は（ ）のあとに増加した（ ）の混入率を（ ）まで下げることがをねらっている。

②仙台市は「ワケアップ」を呼び掛けるために、三つのことを行います。どのようなことでしょうか？

- I（ ）を発信
→啓発グッズを開発してもらうため。
- II「さんあ〜る」の運用
→（ ）ができる。
- IIIオリジナルグッズを贈る
→（ ）できた人全員。

③資源物の混入率の変化を折れ線グラフで表しましょう。



ごみ分別へ「ワケアップ」

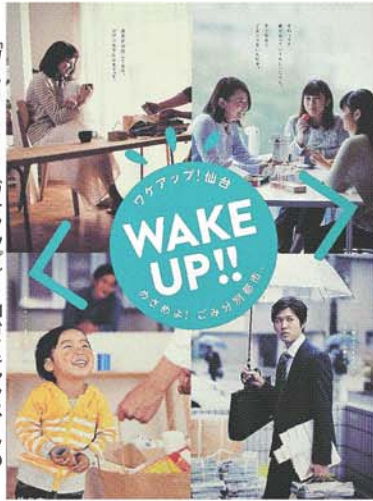
仙台市 来月からキャンペーン

仙台市は6月1日、紙類など再利用可能な資源物の分別徹底を呼び掛けるキャンペーン「WAKE UP（ワケアップ）!!仙台」を始める。東日本大震災後に増加した資源物の混入率が、収集日を自動通知し、

震災前水準まで下げることを目指す。
「ワケアップ」は、ごみ分別意識に「目覚めよ」と「分別向上」の二つの意味を持たせた市の造語。キャンペーンは、分別への関心を高める。隔週で家庭ごみの重さを量り、減量できた人全員にオリジナルグッズを贈る企画を7月末まで実施する。

別の仕方が検索できるスマートフォン用無料アプリ「さんあ〜る」の運用も始める。

「WAKE UP ワケアップ!!仙台」キャンペーンポスター



が低い人が多いとされる学生など若い世代や転勤族を主な対象とする。
学生にインターネットで分別の情報を発信。啓発グッズを開発してもらったか、収集日を自動通知し、

資源物の混入率は震災前の2009年度が38・3%だったのに対し、15年度が42・1%と震災後は高止まりしている。連絡先は市ごみ減量推進課022（21）8230。

(2016年5月27日河北新報朝刊)

年 組 名 前

(小学4年生/社会)